

合同若手会議に参加して
名古屋大学大学院生理学研究科生命理学専攻生体応答論講座
パストウホフ・ストラヒル

2016年1月26日から28日までの三日間、千葉県シーサイドオーツカー宮で「ダイイングコード」と「酸素生物学」との合同若手会議に参加しました。酸化ストレス、低酸素応答、様々な細胞死の誘導とそれへの耐性メカニズムから体内時計にカップリングしたRNA編集やミクログリアによる神経細胞の再生制御までと、内容の幅広い、興味深い発表を聞くことができました。さらに、特別演者として招かれました国立国際医療研究センター研究所長の清水孝雄先生からは、脂質研究の最先端のご紹介や、研究を行うにあたり新しい技術によって新しい結果を目指すべきなど、内容と研究姿勢の両面で心に残る話を伺いました。口頭発表とポスター発表のとき、若手のメンバーが遠慮なく活発な質疑応答を行っていたことも、普通の学会と異なっていて非常に印象深かったです。宿泊は、様々な研究グループのメンバーの間の交流を促すために一つの部屋に所属の異なった4-6人が泊まりました。とてもフレンドリーで楽しい人たちで、研究の話だけでなく魚釣りや調理などの面白い話もでて、お互いの理解を深めて楽しく過ごしました。26日と27日の夜は飲み会も行われ、参加者の研究へのスタンスや、様々な研究上のトラブルとそれに対する対処法の話、そして研究生活に関連した私的なエピソードなども聞くことができ、とても充実した研究交流ができました。もし今後また開催されるなら、その時もぜひ参加したいです。